

News Letter

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 2026.3

近隣センターまちづくり(その他事業)

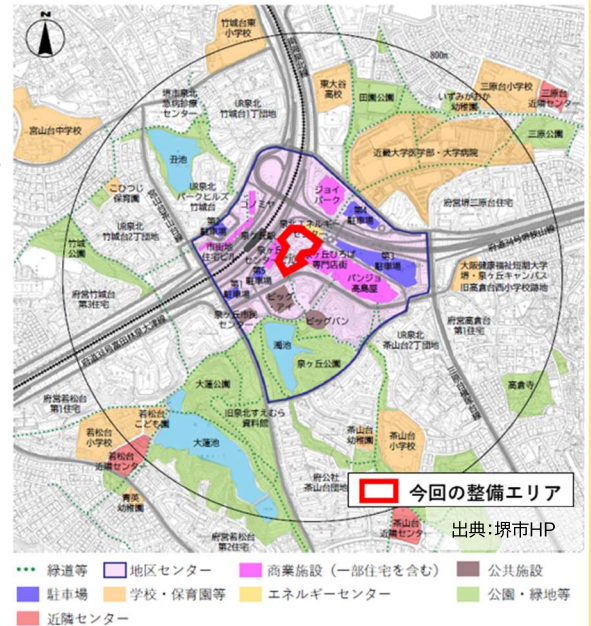
南海電鉄による「泉ヶ丘駅前活性化計画」再始動！ ～堺市と“公民連携”の取組み～

IZUMIGAOKA Next Design

南海電気鉄道株式会社(以下、南海電鉄)は、2026年1月に「泉ヶ丘駅前活性化計画」を再始動すると発表しました。1971年に開業した泉ヶ丘駅は、泉北ニュータウンの中心駅として商業施設や学校などが集まり、南海泉北線内で最も利用者が多い拠点駅となっていますが、周辺地域では地域課題である人口減少・施設老朽化・供給住宅のミスマッチなど様々な問題に直面しています。一方で、駅前地域は、施設の更新、公的賃貸住宅の建替え等、大規模な土地利用転換の時期を迎えています。また、2025年11月には「近畿大学医学部・大学病院(近畿大学おおさかメディカルキャンパス)」が開設され、交流人口の増加も期待されます。

「泉ヶ丘駅前活性化計画」は工事費高騰などの外部環境の影響を受けて一時計画は凍結していましたが、堺市との公民連携の枠組みで泉ヶ丘駅前地域の再整備に取組むことを決定しました。駅前南コンコースを起点にウォークアブルなネットワークの構築やペDESTリアンデッキ・交流広場の活性化につながる空間の創出を行います。

当センターとして、泉ヶ丘駅前地域の賑わい創出に期待し、関係者と連携を図りながら協力していきます。



【南海電鉄 まちづくり推進室 開発部の声】

泉ヶ丘駅前を「LEAD」する立場として、沿線とともに歩み、地域の豊かな暮らしを支えながら社会課題の解決に貢献したいと考えています。

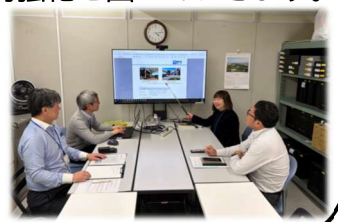
また、堺市との公民連携は計画再始動への大きな力となりました。動線整備を含め、駅前一体の再編に取り組むことで、エリア全体の回遊性を高め、賑わい空間を創出していきます。



【堺市 泉北ニューデザイン推進室の声】

今回の駅前再整備は、駅前地域がダイナミックに生まれ変わる50年に一度の機会であり、南海電鉄との公民連携の機会を活かしながら、各施設間の連携強化を図っていきます。

本市が実施したオープンハウスでの来街者の意見も参考にしながら、駅前空間の機能を更新し、泉北ニュータウンがより豊かに暮らせるまちとなるための「トリガー」となるよう事業を推進します。



●近隣センターまちづくり	南海電鉄による「泉ヶ丘駅前活性化計画」再始動！～堺市と“公民連携”の取組み～	1
●土地区画整理支援	センターが支援している藤井寺市津堂・小山地区において土地区画整理組合が設立しました！	2
●密集市街地まちづくり活動支援	子育て世帯を呼び込む、豊中市「ショコラ」と「庄内さくら学園」密集市街地と相乗効果	3
	豊中市南部地域のまちづくりを学ぶ「現地視察研修会」を開催しました	3
	「地震時等に著しく危険な密集市街地(以下、危険密集という。)」の解消へ向けて、 これまでの取組みと今後の展開について、市担当部長にインタビュー	4
	危険密集の解消に向けた大阪府・センターの取組み	4
	過去に実施された事業やプロジェクトを探訪 豊中市野田地区のまちづくりを振り返り探訪	5
●近隣センターまちづくり	新千里南町近隣センター活性化プロジェクト	6
●大阪北摂霊園	地域に開かれた霊園(大阪北摂霊園)	7
●市町村職員技術支援	令和8年度市町村職員技術研修のご案内	8
	維持管理連携プラットフォームにおけるブロック毎の「地域課題勉強会」が好評により2巡目を始動！	9
●まちづくり活動支援	まちづくり活動団体の活動を紹介します	10
	まちづくり初動期活動サポート助成の募集方法が変わりました！	10
●駐車場の運営	公共空間を活かした駐車場の運営	11
	天満八軒家駐車場にPRボードを設置しました！	11

土地区画整理支援(公益目的事業)

センターが支援している藤井寺市津堂・小山地区において 土地区画整理組合が設立しました！

当地区では、都市計画道路八尾富田林線の事業再開の動きを受け、平成29年に地権者が地域の将来の土地利用を考える『地権者勉強会』を発足されました。

その後、当センターが支援を行い、下記のように事業が推進しました。

- ・令和2年7月:『まちづくり協議会』が設立
- ・令和4年3月:事業化検討パートナーを募集・承認
- ・令和6年2月:『土地区画整理準備組合』が設立
- ・令和6年7月:一括業務代行予定者に
『戸田建設株式会社大阪支店』を承認



【設立総会の様子】

令和7年8月から、組合設立に向け、一括業務代行予定者と連携し、当センター職員が中心となり、149名の地権者に対して個別面談を実施しました。個別面談では、個々の想定される減歩率、共同売却単価、共同賃貸単価を説明し、組合の設立の同意の取得を行いました。

令和7年12月に9割を超える同意をいただき、土地区画整理組合設立の認可申請を藤井寺市に行い、認可を受け、令和8年2月28日に設立総会が開催されました。

今後も当センターは良好なまちづくりの推進に向け当地区への支援を続けていきたいと考えています。



子育て世帯を呼び込む、豊中市「ショコラ」と「庄内さくら学園」 密集市街地と相乗効果

豊中市では、南部地域において公共施設の老朽化とともに、人口減少と子育て世代の転出が顕著でありました。このため、隣接する小中一貫校の「庄内さくら学園」の開校と併せて、公共施設再編に伴い南部地域の活性化を目的に「庄内コラボセンター(ショコラ)」を令和5年2月に開設されました。

当センターは、こうした取組によって地域の魅力が高まり、児童数の増加など子育て世帯の流入につながっている点に注目しています。これらの動きは、密集市街地が抱える地域課題の解決や、魅力あるまちづくりを進める上で、参考となるモデルケースになるものと考えています。



南部地域の活性化ためのショコラの取組み

提供:豊中市

学校連携



放課後の学習支援「しょこぺん」

多世代交流



地域団体主催のお祭り

地域連携



ショコラを舞台に市民活動や事業者、教育関係がまちづくりに向け連携

センターとしては、これらの取組みが、豊中市南部の密集市街地(庄内地区・豊南町地区)の魅力向上を図る中で、将来的な建替え・更新の動きを誘発し、結果として危険密集(地震時等に著しく危険な密集市街地)の改善にも寄与するものとして注目しています。

豊中市南部地域のまちづくりを学ぶ「現地視察研修会」を開催しました

豊中市の協力を得て、賛助会員を対象とした研修会(下記の概要のとおり)を開催しました。久しぶりの研修会開催となりましたが、参加者アンケートでは、情報共有や研修・視察の継続などを求めるお声を多く頂きました。今後は視察研修や情報共有、連携機会の創出などの取組みを展開し、賛助会員の皆様とまちづくり分野での連携の強化を図っていきます。

【研修会の概要】

実施日:令和8年2月5日(木)14時~16時30分

参加者:賛助会員 9社(14名)

第1部 庄内コラボセンター内

- ・ 都市整備推進センターの取組みと意見交換
- ・ 豊中市の密集市街地解消に向けての取組み
- ・ 野田土地区画整理事業等の概要説明
- ・ 庄内コラボセンターの説明と施設見学

第2部 都市計画道路 穂積菰江線と野田土地区画整理事業の現地視察



【参加者からのご意見】

Q:賛助会員として、都市整備推進センターと今後どのような連携があると良いですか？

- ☞ 普段、密集市街地解消に向けた業務を進める際、現場主義であることは理解しながらも、机上の検討以上のことが時間的制約などから出来なかつたりします。今回のように座学と現場の両方を合わせて見る機会はとてありがたいです。

「地震時等に著しく危険な密集市街地(以下、危険密集という。)」の解消へ向けて、これまでの取組みと今後の展開について、市担当部長にインタビュー

豊中市	<p>危険密集の解消に向けて、主要生活道路整備、木造住宅等除却費補助などの取組みや、都市計画道路、小中一貫校の整備などを通じて、庄内・豊南町地区の住環境の改善を進めてきました。</p> <p>今後は、国が目標としている令和12年度末までに残る危険密集を確実に解消するため、効率的に木造住宅等の除却に取り組むとともに、駅前まちづくりの具体化などにより地区の魅力向上に取り組んでいきます。</p>	 <p>上野山都市計画推進部長</p>
寝屋川市	<p>危険密集の解消に向けて、萱島東地区では平成19年に全国初の防災街区整備事業を実施し、共同・協調による建替え等を順次進めた結果、香里地区と萱島東地区の危険密集は解消されました。一方、池田・大利地区では2ブロックが残っており、主要生活道路の拡幅は約6割が完了しています。</p> <p>着実に進めてきた成果を踏まえ、今後は池田・大利地区に重点的に取り組み、主要生活道路の拡幅や防災街区整備事業を進めることで、市内全域の危険密集解消を図っていきます。</p>	 <p>竹本都市デザイン部部长</p>
門真市	<p>危険密集の解消に向け、これまで面整備、道路整備、老朽木造建築物等の除却補助を進めて解消に努めてきました。古川橋駅北地区の中町、幸福町、垣内町は住市総事業と土地区画整理事業の合併施行の面整備で解消しました。また、延焼遮断として主要生活道路の拡幅整備などに取り組んできました。</p> <p>今後は危険密集が残る石原町、大倉町は面整備、主要生活道路の整備、老朽木造建築物等の除却補助、本町は公園整備を進め令和12年度末全域解消を目指します。</p>	 <p>うしとら 長まちづくり部長</p>
東大阪市	<p>若江・岩田・瓜生堂地区では、平成12年度に密集住宅市街地整備促進事業の整備計画承認を得て、防災道路の整備や建替促進助成、木造賃貸住宅等除却費補助などの取組みを進めて参りました。地域の方々の事業協力もあり、令和7年度末に危険密集を解消することができました。</p> <p>今後は、災害時における消防活動に有効な防災道路の整備を引き続き行い、安全安心なまちづくりに取り組んで参ります。</p>	 <p>石井建築部長</p>

危険密集の解消に向けた大阪府・センターの取組み

大阪府	<p>大阪府密集市街地整備方針(令和3年改定)に基づき関係者が連携して取組を進め、危険密集の令和7年度末9割以上解消の目標は達成できる見通しです。</p> <p>この節目を踏まえるとともに、今年度、整備方針の中間年に当たることから、見直しを進めています。令和12年度末までの全域解消に向け、残り1割の危険密集の確実な解消と安全性確保に向けた重点取組を進めるほか、解消後の地区では、まちの魅力と防災性の持続的な向上をめざします。</p> <p>これらの取組を進めるには、これまで以上の関係者の協力・連携が欠かせず、今年度末改定予定の整備方針を踏まえ、着実に推進していきます。</p>
センター	<p>府の整備方針を踏まえ、令和12年度末までの危険密集の全域解消、及び危険密集を脱した密集市街地における「民間活力を誘発するまちづくり」に対して、センターが有する知識やノウハウを活用し、防災街区整備事業等面整備に取組むなど、良質で魅力あるまちづくりの推進に必要な支援を市と連携して進めていきます。</p>

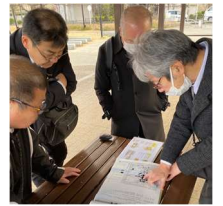
過去に実施された事業やプロジェクトを探訪 豊中市野田地区のまちづくりを振り返り探訪

今回取り上げた野田地区は、約5.6haという広い区域を対象に、密集住宅市街地整備促進事業、土地区画整理事業、市街地再開発事業といった複数の手法を組み合わせ、整備が進められた、当時としても先進的な事例です。こうした多様な事業を総合的に活用したことで、道路や公園が整い、街並みが大きく生まれ変わりました。

今、野田地区を歩くと、以前の密集したまちの姿を想像できないくらい、広い道路と公園が整備され、区画割された土地には共同住宅、タウンハウス、戸建住宅が建ち並んでいます。野田地区の事業完了から、今年で20年の節目を迎えるにあたって、当初から事業に携わっていた2名の元担当職員と現地を訪れながら、当時の資料を手にその歩みを振り返ってみました。

【元担当職員の振り返りと感想】

現地に立つと、まちの様子はかつての姿から大きく変貌を遂げていることが実感できました。20年という歳月が、この地域の景観と暮らしに確かな変化をもたらしたことを改めて感じさせられました。事業当初は地権者との調整が難航し、計画通りに進められない時期が継続していましたが、平成7年の「阪神・淡路大震災」を経て地域の防災意識が高まり、まちの将来を考える機運が強まったことで、事業は一気に動き出すことができました。地域が抱えていた課題と向き合い、将来を見据えた議論を積み重ねた結果、今日の街並みが形成されたことがうかがえました。



松田さん、石田さん
(元担当職員)と
現地を訪れ意見交換

事業完了から20年が経過した今、野田地区は安全性と利便性を兼ね備えた良好な住環境へと生まれ変わり、多くの住民が安心して暮らせる地域となっています。当時の職員の努力と、地域住民の協力によって築かれたこのまちの姿は、まちづくりに関わる私たちに多くの示唆を与えてくれました。

【野田土地区画整理事業等】



地元との関係づくり

新千里南町近隣センター活性化プロジェクト

「みちをいろどろう」イベントを実施しました！

2025年12月に大阪大学 建築・都市計画領域(以下、同研究室)が主催となり、新千里南町近隣センター活性化プロジェクト「みちをいろどろう」イベントが開催されました。

同研究室は、2000年以前より千里ニュータウンに関わり、「吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議」と連携するなど、長年にわたり活動を続けてきました。

イベント実施の背景には、「学生のアイデアを再現し、地域の活性化につなげたい」と豊中市より同研究室へ提案があり実現しました。

本イベントは学生が主体となり企画・運営を行いました。地元関係者と関係性を築き、当センター、豊中市も当日飾り付け等に協力するなどして無事に実施することができました。

今後も近隣センターの活性化へ向けた取組を引き続き支援していきます。



ワークショップの様子
(新千里南町近隣センター)

みんなの”おもいで”をあつめて

みち

をいろどろう！

令和7年
(2025年)
12/12
12~26

新千里南町近隣センター活性化プロジェクト(仮称)
主催：大阪大学 建築・都市計画領域
協力：千里ヒトコロポ、豊中市
大阪府都市整備推進センター

■ワークショップのねらい
千里ヒトコロポ、大阪府都市整備推進センター、豊中市協力の元、私たち大阪大学の学生が、新千里南町近隣センターの全体の活性化を目指すべく、今年度は近隣センターの一本の「みち」を色どります。

■プロジェクトの概要
今年度は近隣センターの中でもみんなが通る大きな商店前の通りを対象にし、みんなの絵や南町での思い出や言葉を、100枚の布にかけて道を彩ります。

■展示場所
新千里南町近隣センター
商店通り前アーケード部分
(豊中市新千里南町2丁目12)

■「みち」を飾り付けていこう！(秋祭りで飾り付けた布をみんなで飾り付けよう！)
みんなでいろぬり！

みなみまちの冬をいろどる

11/2【日】(秋祭り) ~ 11/30【日】

12/12【金】 14:00 ~ 17:00

12/12【金】 ~ 12/26【金】

～イベントを主催した学生の声～

今回のプロジェクトは学生間でアイデアを出し合い、コンペティションを通じてイベント内容を決定しました。イベント実施へ向けて準備を進める中で、土台となる前例や仕組みがない状態からのスタートだったこともあり、調整を要する場面もありましたが、地元関係者と協議を重ねながら、ワークショップを開催し、本番を迎えることができました。当日は訪れた方から「賑わいが生まれて良かった」との声をいただき、達成感につながりました。

本イベントを通じて、地元との「関わりの種」を蒔くことができ、今後も地元関係者とのつながりを大切にしながら、活動を継続していきたいです。

【インタビュー協力：大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 建築・都市計画論領域(第3領域)】

地域に開かれた霊園(大阪北摂霊園)

大阪北摂霊園では、墓園の適切な維持管理を行いながら、地域に開かれた都市施設としての役割を踏まえた取組みを進めています。来園のしやすさや安心感を高め、想いに寄り添い、地域とのつながりを大切にしています。こうした積み重ねにより、魅力を向上し、都市施設としての役割を担っています。

◆地域に開かれた霊園

大阪北摂霊園は箕面国定公園に隣接し、自然環境に恵まれた場所に位置しています。また、大阪・箕面と東京・八王子を結ぶ1都2府8県に及ぶ全長1697.2kmの自然歩道で、長距離自然歩道の第一号として誕生した東海自然歩道が通っており、多くの方が自然散策やハイキングのために訪れる地域でもあります。今後は、この立地特性を活かし、東海自然歩道との連携などを通じて、墓参者に限らず多くの方々に霊園を知っていただく機会を創出していきます。安心して立ち寄れる環境づくりを進めることで、地域に開かれた施設としての役割を果たしていきます。

◆墓参者のアクセス改善

高齢化が進むなか、来園時の身体的負担の軽減は重要な課題です。お客様へのサービス向上に向け、阪急バスと交渉を重ねた結果、令和7年4月21日より大阪北摂霊園行きの往路が箕面グリーンロード経由となりました。

【お客様の声】

- ・座席に座ることができ、楽に霊園に来れるようになった。(70代男性)
- ・山道を渋滞することなくスムーズに墓参することができた。(60代女性)

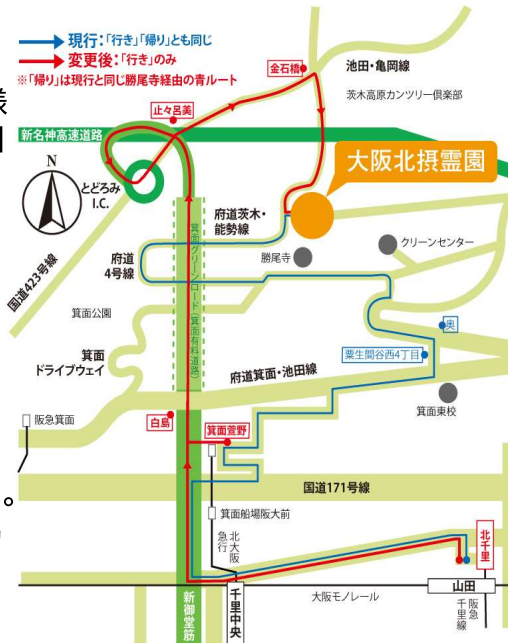
来園のしやすさを高めることで、墓参の機会を支えています。

◆墓参者への配慮ある滞在環境づくり

お盆・お彼岸にお茶のサービスやお子さまへのお菓子の配布を行いました。また、霊園の歩みを振り返る展示を実施するとともに、地元の皆さまのご協力により野菜市やキッチンカーの出店も行い、参拝後のひとときを過ごしていただく機会としました。今後も地域の皆さまと連携し、より良い環境づくりを進めてまいります。

◆お墓参りが叶わない方へ寄り添う

開園記念日にあたる令和7年11月16日、当センターの役職員および関係者により献花式を執り行いました。霊園を長きにわたり支えてくださっているすべてのご使用者の皆さま、そして地域の皆さまに感謝の気持ちを表するとともに、霊園に眠るすべての方々へ敬意を表し、安らかな眠りをお祈りしました。そして、墓参に訪れることが難しい方々の想いにも寄り添いながら、今後も心を込めて霊園の管理に努めていくことを改めてお誓いいたしました。献花式の様子は、[大阪北摂霊園のYouTubeチャンネル](#)にてご覧いただけます。



◆大阪北摂霊園のビュースポット紹介

霊園内を通り抜け、東海自然歩道へと続くルートで、絶景ポイントを満喫してみませんか？
静かな霊園の中から素晴らしい景色があなたを迎えてくれます。



令和8年度市町村職員技術研修のご案内

令和8年度も、大阪市内で行う「基礎的技術研修」に加えて、出前型の「技術力向上研修」を大阪府が7地域に設置している維持管理連携プラットフォームを活用し、各土木事務所で実施します。

詳細につきましては、後日、市町村の研修担当部局等にお知らせいたします。

※研修に関する詳細な内容は、当センターのホームページ又は電話でお問い合わせください。

基礎的技術研修

番号	開催日	研修名(予定)	研修内容(予定)	時間	WEB 受講	定員 (人)	受講料 (円)
1	6月上旬	「災害復旧・ 査定講座」	①災害復旧事業の概要と 査定官の着目点 ②立会官の着目点 ③災害査定の注意点	午後	○	30	2,000
2	6月下旬	(初心者向け) 「土木積算の 基礎講座」	①積算の基礎知識 ②積算の事例 ③積算演習	1日	○	30	2,000
3	7月上旬	「公共測量の 基礎講座」	①公共測量の概要 ②GNSS及びTS基準点測量 ③公共測量成果品の品質確保	1日	○	30	2,000
4	7月下旬	「道路・公園の 樹木管理講座」	①都市にとって樹木とは ②樹木の診断と処置 ③クビアカツヤカミキリの防除	午後	○	30	2,000
5	10月下旬	「ドローンの基礎と 操縦講座」	①座学研修 1日 ②実技研修 2日	3日	—	10	12,000

※令和7年度より、ハイブリッド研修【対面とWEB受講(ZOOM)】を一部で実施しています。

〈令和7年度研修の様子〉



災害復旧・査定講座



ドローンの基礎と操縦講座

維持管理連携プラットフォームにおけるブロック毎の 「地域課題勉強会」が好評により2巡目を始動！

インフラメンテナンスに関する課題や業務の効率化などの地域課題を、参加する市町村職員自らが討議、意見交換する「地域課題勉強会」を討論形式で行っています。この勉強会を通して地域課題解決に向けた議論を活発化させ、市町村間の水平連携が強化できるよう、当センターが貢献しています。

開催実績

<検討テーマ> 地域住民による除草、包括民間委託、業務の共同発注、休日の苦情対応、橋梁メンテナンスの一括発注 など

2025 <1巡目>	●	8/26	豊能
	●	8/28	南河内
	●	9/ 3	泉南
	●	10/22	三島
	●	10/29	泉北
2026 <2巡目>	●	11/13	北河内
	●	11/20	中河内
	●	1/19	豊能
	●	1/26	南河内
	●	3/ 4	泉南

地域課題勉強会の風景(豊能2巡目)



参加者の声

4.13 ★★★★★



人的ネットワーク構築のツールとして、定期的に開催してほしい



他市町村の動向・意見を聞けて、今後の考え方の参考となり有意義

出前型技術力向上研修

各地域で開催する維持管理プラットフォーム勉強会【地域課題勉強会(研究)】にあわせて、出前型の技術力向上研修を実施します。

建設業界紙も注目

建設業界紙も関心、毎回勉強会の開催記事を掲載いただくほか、「インフラメンテナンスや勉強会」の取り組みに関して、取材を受けました。



PF勉強会ニュース
(第3号)

● 国土交通省、インフラメンテナンス国民会議からも評価！

地域課題勉強会は、国土交通省が提唱する「地域インフラ群戦略マネジメント(群マネ)」の推進にもつながる取り組みです。

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムの事務局を担う「一般社団法人国土政策研究会※」の協力とともに、評価をいただいています。

国土交通省の評価



たいへん心強い取り組みをやっている。
【国土交通省総合政策局公共事業企画調整課
調整官 岩館慶多様】

国土政策研究会の評価



技術面だけでなく、人・考え方・経験を共有し、現場で本当に役立つ取り組みです。
【一般社団法人国土政策研究会理事兼関西支部事務局長
(インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムリーダー) 片岡信之様】

※ 一般社団法人国土政策研究会関西支部は、地域再生のまちづくり、PPP-PFI等による官民連携による地域再生の推進など、わが国が抱える諸問題について調査・研究を進める「地域再生を一緒に考える団体」です。



<https://kokuseiken.or.jp/branches>



お問い合わせ先:市町村技術支援課 TEL:06-6262-7670

まちづくり活動団体の活動を紹介します

北新地みらい会議は、北新地エリアの課題解決に向けた組織として令和5年3月に発足しました。

大阪を代表する社交場「北新地」での『まちづくりビジョン策定』に向けた活動

北新地みらい会議は、北新地エリアの地域団体、店舗・企業、住民、地権者、そこで働く人、訪れる人など、北新地を愛する人たちが集い、自ら行動することにより、エリアの魅力向上を図ることを目的に、令和5年3月に発足しました。北新地が安心安全に利用でき、商売ができる上質な社交場であり続けること、まちの埋もれた魅力を発掘発信し、新たな魅力づくりをおこない、多くの市民にも訪れてもらえるまちになることをめざして自律的な活動を展開しています。



提供:北新地みらい会議

北新地まち歩きツアーの様子

1. まちの課題を改善する

- ・客引き撲滅対策(市民局との連携)
- ・放置自転車対策(建設局をサポート)
- ・防災勉強会(北区の支援を受け実施)
- ・無電中化対策(現地把握から開始)

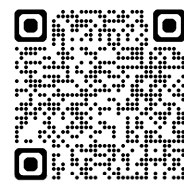
2. 活動の仲間を増やす(会員数の推移/地域団体・個人・法人の合計)

2023年度末 34人⇒2024年 137人
⇒2025年度末 179人

3. 新しい魅力を創り、発信する

- ・ガーデンブリッジの新しい活用(北新地縁日など)
- ・“温故新地”クラブの歴史の取材・発信
- ・イケフェス大阪“北新地まち歩きツアー”
- ・ホームページ、SNSによる情報発信

4. まちづくりビジョンの策定



北新地みらい会議
(活動資料)

【北新地みらい会議の声】

「キラッと輝く！OSAKA市民活動グランプリ」の受賞により、「上質な社交場・北新地の活動が『市民活動』として認められたこと」「北新地が大阪市のひとつの『文化の象徴』と位置付けられたこと」「我々の活動が『他のまちにも展開でき、大いなる波及効果を期待』していただいていること」が大きな成果と考えています。

また、令和5年度からまちづくり初動期サポート助成を受けており、継続的なご支援に感謝しております。

なお、4月には、日本都市計画学会関西支部より「関西まちづくり賞」を受賞する予定です。

受賞者紹介大阪市HP <https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000660000.html>

当センターでは、他地区へのまちづくりモデルとなるような活動に対して、支援を行っています。

まちづくり初動期活動サポート助成の募集方法が変わりました！

	はじめの一步 助成部門	初動期活動 助成部門	詳細
対象となる団体	これから活動をはじめる団体	規約、会則等を定め、自主的に継続的活動する団体	募集チラシ
助成金額	最大10万円(合計2回まで)	最大50万円(合計3回まで)	募集案内
第1回受付期間	4/1(金) ~ 4/30(木) ※以降随時受付		
第1回助成決定	5月下旬ごろ		



公共空間を活かした駐車場の運営

駐車場周辺部の美化活動

河川敷や高架道路下の公共空間の有効活用を図り、周辺駐車需要への対応や自動車交通等の利便性の向上等をめざし、自動車及びバイクの駐車場を整備し、良質な管理運営を行っています。

利用者に安全・安心で使いやすい駐車場として満足いただけるよう、施設整備やサービスの改善・向上に努めています。

天満八軒家駐車場にPRボードを設置しました！



天満八軒家駐車場(位置図)



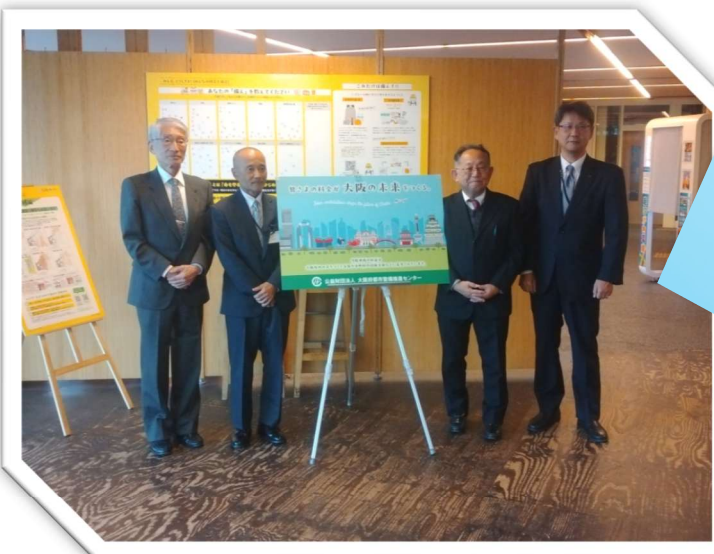
当センターは、大阪府より河川占用許可を受け、天満八軒家駐車場(月極16台、時間制98台、バイク34台)を整備・運営しています。本駐車場のご利用によって得られる収益は、まちづくりをはじめとした公益事業に活用されており、公共空間を身近に感じていただける場づくりを目指しています。

こうした取組をより多くの方に知っていただくため、令和7年11月14日、駐車場をご利用いただくことで地域に貢献いただいていることをお伝えするPRボードを設置しました。当日は、八軒家浜連絡会の皆さまとともに除幕式を行い、あわせてセンター職員と協力しながら、駐車場周辺の清掃・美化活動を実施しました。

今後も、地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、安心してご利用いただける駐車場運営と、河川空間の魅力向上に取り組んでいきます。

除幕式とPRボード

北浜東振興町会 橋本会長からの祝辞



左から鳥居会長(北大江連合振興町会)
川路次長(西大阪治水事務所)
橋本会長(北浜東振興町会)
田中理事長(大阪府都市整備推進センター)

北浜東振興町会 会長の橋本と申します。本日は大阪府都市整備推進センター様のまちづくり活動PRボードの除幕式に来賓としてお招きいただき、誠にありがとうございます。

現在、大阪府都市整備推進センター様には、天満八軒駐車場を運営して頂いており、地域住民の利便性の向上や、違法駐車防止等で大変貢献されていると認識をしております。

また、駐車場以外にも八軒家浜の美化活動に大変ご尽力、ご協力を賜っており改めまして感謝を申し上げます。

最後に、本日設置されました「まちづくり活動のPRボード」で大阪府都市整備推進センター様のまちづくり活動が広く周知され、今後更にご発展されますことを祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが、私からの挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



堺筋本町オフィス

〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目8番12号(オーク堺筋本町ビル10階)

- 総務部
 - 総務課 TEL 06-6262-7711
 - 財務課 TEL 06-6262-7714
- 都市整備事業部
 - 区画整理課 TEL 06-6262-7712
 - 調査計画課 TEL 06-6262-7712
 - 市町村技術支援課 TEL 06-6262-7670
- まちづくり事業部
 - ◇ まちづくり推進室
 - 密集市街地対策課 TEL 06-6262-7713
 - ニュータウンまちづくり課 TEL 06-6262-7725
 - まちづくり支援課 TEL 06-6262-7724
 - 駐車場事業課 TEL 06-6262-7720



北千里オフィス

〒565-0874 吹田市古江台4丁目119番地(千里北センタービル3階)

- 霊園事業部
 - 霊園企画課 TEL 06-6871-3379
 - 霊園事業課 TEL 06-6871-0577
- 千里事業部
 - 不動産事業課 TEL 06-6871-0391
 - 再開発事業課 TEL 06-6871-6030
 - 施設整備課 TEL 06-6871-0393



霊園管理事務所(大阪北摂霊園)

〒563-0216 豊能郡豊能町高山235

- 霊園事業部
 - 霊園管理事務所 TEL 072-739-0291



阪南事業所(ちぎりアイランド)

〒596-0016 岸和田市岸之浦町9番地

- 阪南事業所 TEL 072-431-1793



大阪府都市整備推進センターは、公益目的事業として、土地区画整理事業などのまちづくり支援や橋梁点検など市町村のインフラ維持管理等への技術支援などを実施しています。また、こうした公益目的事業を支えるため、駐車場運営事業や不動産賃貸事業といった収益事業を行っています。

発行 公益財団法人 大阪府都市整備推進センター

〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目8番12号 オーク堺筋本町ビル10階

TEL:06-6262-7724 FAX:06-6121-2675

E-mail:machishienka@toshiseibi.org URL:<https://toshiseibi.org/>

センターHP

